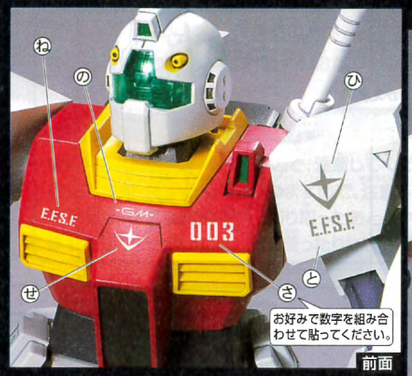
MARKING

マーキングシール



前面

背面

左足首

あ～ふはマーキングシールの記号です。
※余ったマーキングシールはお好みでご自由にお貼りください。

REAR VIEW

リアビュー

ACTION

アクション

DETAIL

ディテール

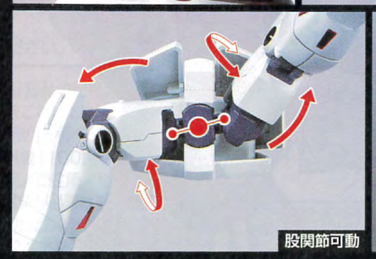
頭部可動（首）

腕部可動

バックパック

脚部可動

股関節可動



足裏ディテール

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等：	●ダクト、エリ等：	●頭部、胸部センサー等：	●バックパック等：
ホワイト（95%） ＋グレー（5%）	イエロー（100%） ＋オレンジ（少量） ＋ブラック（少量）	下地にシルバー（100%） ＋クリアグリーン（80%） ＋クリアブルー（20%）	ブラック（70%） ＋パープル（20%） ＋ブルー（10%）
●胸、シールド等：	**●関節等：**	**●ビーム・ライフル センサー：**	**●肩、ふくらはぎバーニア：**
モンザレッド（95%） ＋ブラック（5%）	グレー（60%） ＋ネービーブルー（30%） ＋パープル（10%）	ピンク（100%）	シャインレッド（100%）

©創通・サンライズ

RMS-179 GMII

E.F.S.F. MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

MODEL NUMBER：RMS-179
HEAD HEIGHT：18.1m
WEIGHT：40.5t
TOTAL WEIGHT：58.7t
GENERATOR OUTPUT：1,518kw
THRUSTERS TOTAL PROPULSION：62,000kg
MATERIAL：TITANIUM ALLOY
AND CERAMIC COMPOSITE
ARMAMENTS：
60mm VULCAN GUN
BEAM RIFLE
BEAM SABER
SHIELD

機動戦士Zガンダム

1/144 SCALE

HG UNIVERSAL CENTURY

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト▶www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。

BANDAI 2011 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は塗装してあります。

0171630

BANDAI

RMS-179 GMⅡ

「ジムⅡ（ツー）」は、一年戦争終結後、U.C.0080年代の後半以降にRGM-79の後継機として配備された機体である。戦時下に生産された"ジム系"の機体は、設計や規格の乱立のため継続運用にも支障をきたしていた。そこで戦後しばらくは、補充や更新に対応すべくRGM-79C ジム改の生産が継続されていた。しかし、公国系技術の吸収が一定の成果を上げ、AE（アナハイム・エレクトロニクス）社の参入などもあって、RMS-117 ガルバルディβやRMS-106 ハイザックの採用など、連邦軍全体の兵器調達体系が刷新された事もあって、"量産機"の調達はボーダレス化していった。ただし、U.C.0080年代半ば以降は、各種パーツの活用や機能向上などを包括的に可能とする技術やノウハウの確立もあって、"ジムの後継機"開発が再び推進されることとなった。かくしてRGM-79R ジムⅡは、ジムをベースとした改装機として制式採用が決定した。図らずもジムⅡは、時期的に"ジム"の耐用年数や配置転換などが重なったこともあって瞬く間に生産数を増やし、ついには、すべてのパーツを新造するRMS-179 ジムⅡの生産が決定した。これには、公国系の機体の制式採用に対するある種の"揺り戻し"もあったようだが、実際には連邦軍内部での派閥間闘争の激化も影響していた。つまり、調達容易な機種に対するニーズが急速に高まっていたのである。「RMS-179」は、厳密には、主に連邦軍の正規部隊やティターンズによって運用されたグリプス工廠製の新造機を指すが、調達や部隊編成の都合などから、「RGM-79R」と同様に"ジム系"から改装された機体も皆無ではないらしい。「ジムⅡ」は、連邦軍の主力機として"ジム"に次ぐ規模で生産され、グリプス戦役以降、U.C.0090年代後半まで稼働していた機体も確認されている。

ビーム・ライフル
ジムが標準装備としていたビーム・スプレーガンの更新兵装。生産ラインも流用されており、エネルギー供給は従来通り本体から受けているため、継戦能力に課題を残している。

シールド
主に実体弾などに対して有効な防御装備。"ガンダム"用の設計を踏襲した量産品であり、ほぼ同等の防御力を維持しつつ大幅なコストダウンを達成している。

頭部60mmバルカン／胸部センサー
連邦製MSの頭部の標準的な構造で、60mmバルカンとメインセンサーシステムがユニット化されている。頭部そのものが一基の自動砲台としての機能を持つとも言える。

ビーム・サーベル
斬撃用のエネルギー兵器。プラズマ状のビームを形成して対象を溶断する。ビームの発振ユニットは一年戦争以来の標準的な量産品の更新部材を採用している。

バックパック
RGM-79D型のバックパックを基準として、センサー系の増設などを施した上で再設計されたもので、後期生産型である79C型の生産ラインをほぼ流用して供給されている。

サブスラスター
ショルダーアーマーおよび脚部に増設されたロケットモーター。一部の機体に採用されていた開閉式のものを固定装備としたことで、生産性と整備性を維持しながら機動性を向上させている。

SPEC
型式番号：RMS-179
頭頂高：18.1m
本体重量：40.5t　全備重量：58.7t
ジェネレーター出力：1,518kw
スラスター総推力：62,000kg
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
武装：頭部60mmバルカン
ビーム・ライフル／ビーム・サーベル
シールド

※この商品には、『HGUC ジムⅡ』が1セット入っています。
●写真はバンダイプラモデルアクションベース2（別売り）を使用しています。

RMS-179 ジムⅡ

●写真はイメージです。

RMS-179 ジムⅡは、TVシリーズ「機動戦士Zガンダム」および劇場版「機動戦士Zガンダム 星を継ぐ者」などに登場する量産型MSである。U.C.0087年3月2日。ティターンズの拠点であるかつてのサイド7=グリーン・ノアにおいて、新型のガンダムが開発されているとの情報を入手したエゥーゴは、その確認のため、2基に分断されたグリーン・ノアにそれぞれ潜入する。密閉型に改造され要塞化したグリーン・ノア2=グリプスで、建造中の大型戦艦とガンダムMk-Ⅱの存在を確認したクワトロ大尉は、陽動のため後方に控える母艦アーガマにコロニーへの砲撃を要請する。その混乱に乗じ、クワトロはアポリー、ロベルトと合流。3機のリック・ディアスでもう一方のグリーン・ノア1に侵入する。しかし、所属不明機を迎撃すべく出撃した赤いボディのジムⅡ部隊が前方から迫る。「ガンダムの所在を掴まぬうちに!!」迷いを振り払い、クワトロはロベルトに相づちを返す。「ここまで来てMk-Ⅱを見るだけなどと…!」連邦軍のジムⅡ部隊は、コロニー内であるにも関わらずビーム・ライフルでリック・ディアスを撃つ。クワトロは機体の背部からビーム・ピストルを取り出し、頭部のバルカン・ファランクスでジムⅡの頭部を吹き飛ばす。「こっちのはなぜ当たらないんだ!?」ジムⅡのパイロットが吐き捨てる。「早いっ!!」眼前を過ぎるリック・ディアスの挙動にパイロットは歯噛みする。「こんな旧式のジムじゃ、追いかけられない!!」次々と撃墜されるジムⅡ。「早すぎる、まるで"赤い彗星"だ!!」ティターンズと正規軍、エゥーゴが入り乱れる戦闘のさなか、グリーン・ノア1の居住区に住む人々の運命もまた、大きく変容して行くのだった……。

HGUC シリーズラインナップ　※この商品には、『HGUC ジムⅡ』が1セット入っています。

ジム系列の量産機でたどる、進化の歴史を確認せよ!!

RGM-79
RX-78の基本構造に基づいて再設計された機体。
HGUC No.020 ジム

RGM-79D
ジムの後期生産型。氷結対策、防寒処理が施されて地球上の寒冷地へ配備された。
HGUC No.038 ジム（寒冷地仕様）

RGM-79GS
ジムの後期生産型。バックパックの姿勢制御バーニアの数が増加された。
HGUC No.051 ジム・コマンド（宇宙仕様）

RGM-79Q
ジオン残党狩りを目的とした部隊「ティターンズ」の初期の主力機。
HGUC No.074 ジム・クゥエル

RGM-86R
「第一次ネオ・ジオン戦争」期の連邦軍の主力量産機。
HGUC No.126 ジムⅢ

機動戦士Zガンダム

「グリプス戦役」開戦当初の各勢力が保有するMSをHGで考察してみよう。

ザクⅡをベースに最新鋭の技術を投入した機体。
HGUC No.012 ハイザック

一年戦争で名声を得た、RX-78ガンダムの正統なる後継機。
HGUC No.030 ガンダムMk-Ⅱ（ティターンズ）

「一年戦争」期のジムを戦後に改良した機体。地球連邦機は赤系統、エゥーゴ機は緑系統に塗装、区別されている。
HGUC No.131 ジムⅡ

ジムⅡのエゥーゴ機は、この設定画を参考にカラー再現してみよう。
ジムⅡ エゥーゴカラー

ティターンズに対抗すべく、エゥーゴが独自に開発した機体。赤く塗られた機体は「まるで赤い彗星だ」と恐れられた。
HGUC No.033 リック・ディアス（クワトロ・バジーナ カラー）

⚠警告（けいこく）

保護者の方へ　必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

⚠注意（ちゅうい）

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

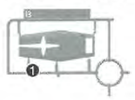
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

・修properをするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

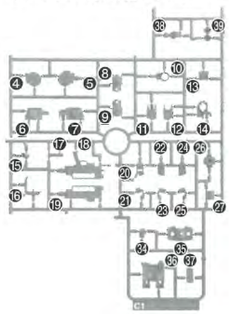
パーツリスト（×印は使用しないパーツです。）

Aパーツ
（スチロール樹脂：PS）

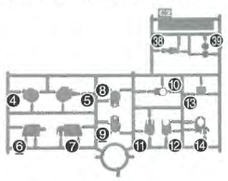
Bパーツ
（スチロール樹脂：PS）



C1パーツ
（スチロール樹脂：PS）

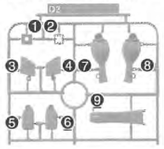


C2パーツ
（スチロール樹脂：PS）

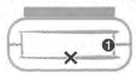


D1パーツ
（スチロール樹脂：PS）

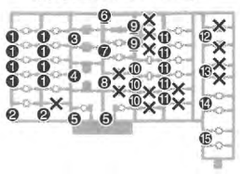
D2パーツ
（スチロール樹脂：PS）



SB6パーツ
（スチロール樹脂：PS）

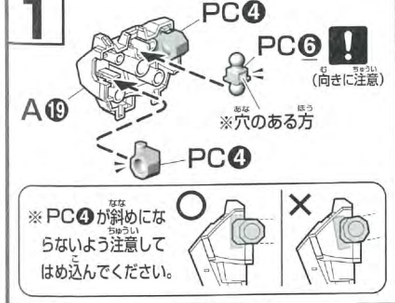


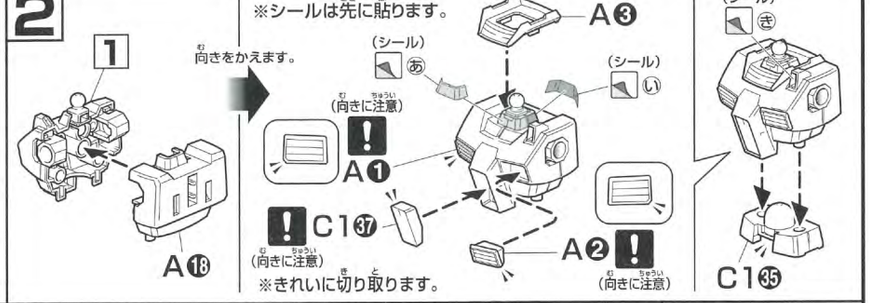
〈PC-001A〉
（ポリエチレン：PE）

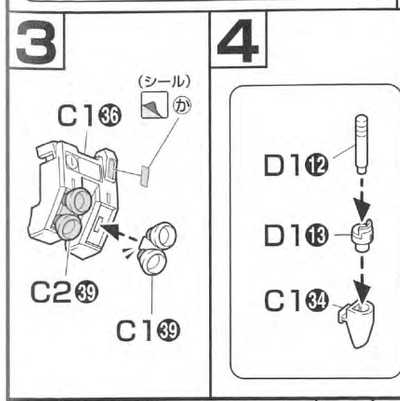


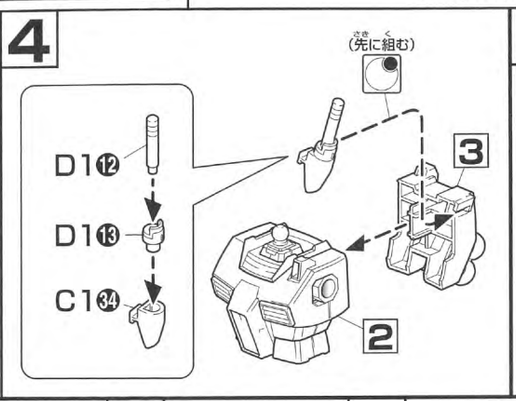
※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

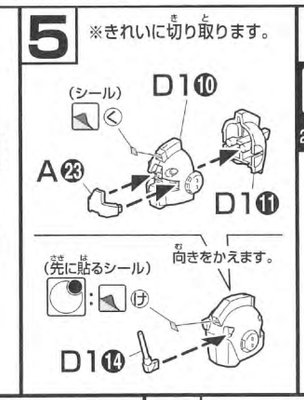
●マーキングシール…1

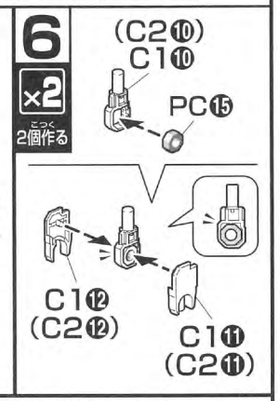


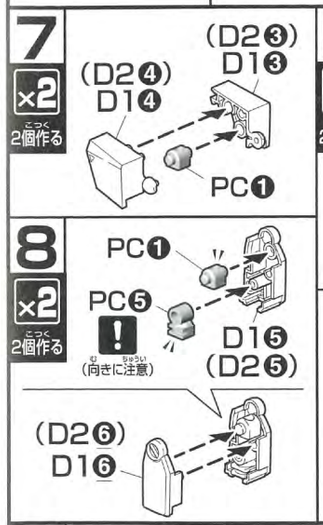


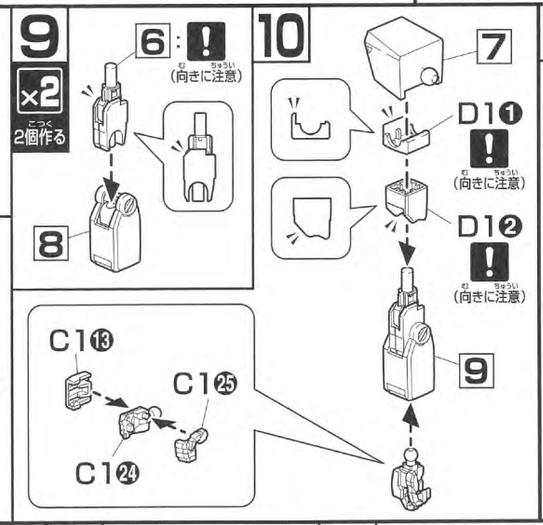


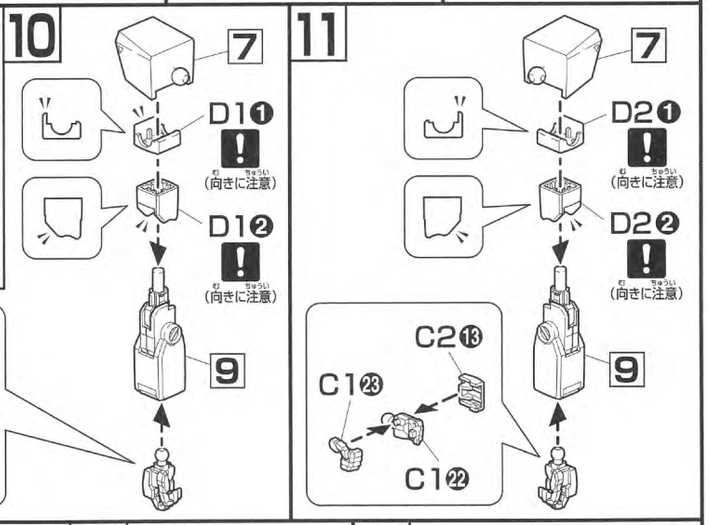


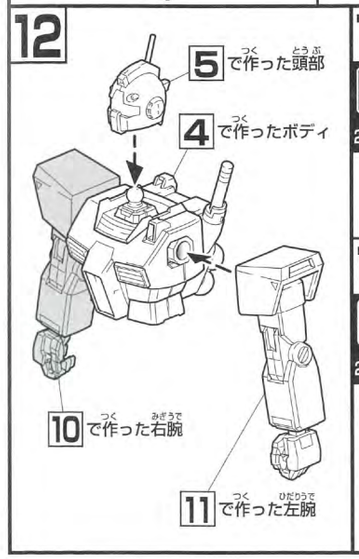


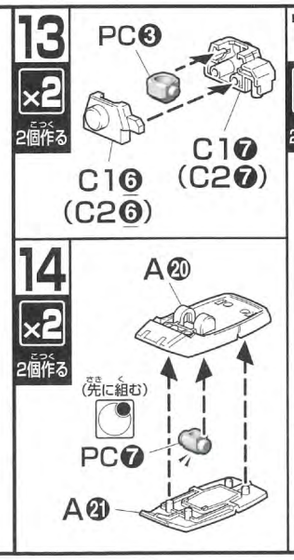


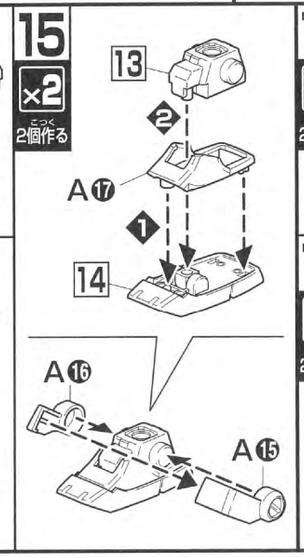


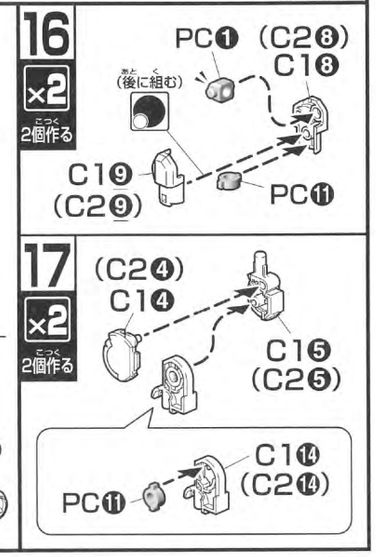












18

×2 2個作る

(D2❽)
D1❽
PC❶
PC❶
C1⓲
(C2⓲)
D1❼
(D2❼)

19

×2 2個作る

17
(D2❾)
D1❾
18

20

A⓬
A⓮
16
19
15

21

A⓬
A⓭
16
19
15

22

PC⓾
A❼
A⓾
PC⓮
PC⓾

23

A❾
22
A❽
❶
❷
A❾
A❺

24

PC❷
23 で作った 腰部
❷
C1㉖
❶
21 で作った 左脚
20 で作った右脚

25

12
24

26

C1⓲
C1⓳
C1⓱

27

(向きに注意)
C1⓯
26
〈後ろから見た図〉

28

※手首は外しておきます。
C1㉗
C1⓴
27 で作った ビーム・ライフル
C1㉑

29

(左手にも持たせられます。)
SB6❶

30

A❻
PC⓮
向きをかえます。
B❶
A❹

31

C1⓰
(選んで取り付ける)
30 で作った シールド

※写真の完成品は塗装してあります。

※写真の完成品は塗装してあります。

※バンダイプラモデルアクション ベース2(別売り)差し込み用 (丸型)BA4-A❾